

衆議院経済産業委員会ニュース

【第207回国会】令和3年12月15日（水）、第1回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 藤田文武君（維新）

補欠選任 理事 石川昭政君（自民）（理事笹川博義君去る3日委員辞任につきその補欠）

理事 稲田朋美君（自民）（理事武藤容治君去る3日委員辞任につきその補欠）

理事 松本洋平君（自民）（理事八木哲也君去る3日委員辞任につきその補欠）

理事 小野泰輔君（維新）（理事藤田文武君今15日理事辞任につきその補欠）

2 国政調査承認要求に関する件

- ・以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

① 経済産業の基本施策に関する事項

② 資源エネルギーに関する事項

③ 特許に関する事項

④ 中小企業に関する事項

⑤ 私的独占の禁止及び公正取引に関する事項

⑥ 鉱業等に係る土地利用の調整に関する事項

3 萩生田経済産業大臣、細田経済産業副大臣、石井経済産業副大臣、岩田経済産業大臣政務官及び吉川経済産業大臣政務官からそれぞれ就任の挨拶が行われました。

4 特定高度情報通信技術活用システムの開発供給及び導入の促進に関する法律及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法の一部を改正する法律案（内閣提出第2号）

- ・萩生田経済産業大臣から趣旨の説明を聴取しました。

- ・萩生田経済産業大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

- ・笠井亮君（共産）が討論を行いました。

- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

（賛成—自民、立民、維新、公明、国民 反対—共産）

- ・石川昭政君外4名（自民、立民、維新、公明、国民）から提出された附帯決議案について、落合貴之君（立民）から趣旨説明を聴取しました。

- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。

（賛成—自民、立民、維新、公明、国民 反対—共産）

（参考人）国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構副理事長 及川洋君

（質疑者）長坂康正君（自民）、中野洋昌君（公明）、大島敦君（立民）、荒井優君（立民）、青柳仁士君（維新）、漆間譲司君（維新）、鈴木義弘君（国民）、笠井亮君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

長坂康正君（自民）

- （1） 我が国の半導体産業が80年代以降立ち遅れた原因及び今後の半導体戦略の方向性についての萩生田経済産業大臣の見解
- （2） 世界をリードするための我が国の半導体戦略の進め方
- （3） 本法案における半導体生産基盤の整備と技術開発を車の両輪として進めるための措置内容
- （4） 最先端ではない半導体の生産工場を誘致する意義

- (5) 先端技術を取り扱う技術者の確保及び育成のための関係組織の連携の在り方

中野洋昌君（公明）

- (1) 経済安全保障の環境変化についての政府の認識及び半導体産業の戦略的重要性
(2) 今後我が国が目指すべき半導体産業政策の対象分野及び予算措置の規模
(3) 本法案及び補正予算案等における半導体産業に対する支援の全体像
(4) 本法案の実効性を担保するための措置の在り方

大島敦君（立民）

- (1) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）に設ける特定半導体基金の金額
(2) 多額の税金が投入されることについての国民及び国会への説明責任の在り方
(3) 台湾の大手半導体メーカーTSMCを助成対象としていることの確認
(4) 認定を受けた事業者の平時の経営の自由度と我が国の有事における半導体の安定確保の要請とのバランスに対する見解
(5) 電力コスト低減等の工場立地条件を整備する必要性
(6) オランダの露光機メーカーASMLの技術力を向上させた研究開発体制の在り方
(7) 半導体関連産業の研究開発拠点を整備する必要性及び政府における支援の在り方
(8) 特定半導体基金を今後増額する可能性
(9) 本法案が産業発展への推進力を伴うものであるかについての萩生田経済産業大臣の見解

荒井優君（立民）

- (1) 日米半導体貿易摩擦以前からの半導体政策の不在についての政府の認識
(2) TSMCが熊本県菊陽町に建設する半導体工場関係
ア ソニーの子会社と合弁会社を設立する理由
イ ソニーが保有するCMOSイメージセンサー等の知的財産流出の懸念
ウ 半導体産業を支える人材育成についての政府の方針
(3) 半導体産業のスタートアップ企業に対する支援
ア 政府における支援の在り方
イ フランスのステーションFのようなスタートアップの集積地をつくる必要性

青柳仁士君（維新）

- (1) 高性能な半導体の獲得のため日本政府がこれまでに行ってきた政策の内容
(2) 今後における半導体分野への先行投資の在り方
(3) 我が国の経済安全保障政策における高性能半導体の位置付け
(4) NEDOによる助成金交付を迅速に執行するための対応方針

漆間譲司君（維新）

- (1) 令和3年度補正予算案におけるエドテックの導入補助金関係
ア エドテックの学校現場への導入の進捗状況及び見通し
イ コロナ禍において学校現場を通さずに学びが継続できる仕組みをエドテックの活用により構築す

る必要性

- (2) 海外企業が特定半導体基金の支援対象となった場合の外交リスクの管理の在り方
- (3) 大規模な予算を伴う本事業の適切な執行を確保するために具体的な事業者対応指針を定める必要性

鈴木義弘君（国民）

- (1) 半導体不足に関する具体的数量データの有無
- (2) 今回の支援措置が将来的に半導体の供給過剰を招く可能性
- (3) 経済安全保障上の観点から国内での半導体垂直一貫生産を構築する必要性
- (4) 半導体関連産業の海外転出による空洞化を防ぐための支援の在り方
- (5) 半導体産業支援のため多額の予算を適切に執行する必要性

笠井亮君（共産）

- (1) 特定企業に4,000億円規模の国費を投入した事例の有無
- (2) 認定計画の変更による追加的支援の可否
- (3) 一件当たりの助成金の上限額の有無
- (4) 本法案における支援額増加にかかる歯止め規定の有無
- (5) ユーザー企業に対する半導体の安定確保にかかる自助努力の要請の有無
- (6) 月次支援金の手続の迅速化を図り、必要とする全事業者に対して給付を完遂するための萩生田経済産業大臣の決意
- (7) 「経済安全保障」の法律上の定義の有無